

TOYAMA2020中学校スポーツ交流大会への出場にあたって

R2.7.22

校長 高瀬 知郎

明日からの4日間、「TOYAMA2020スポーツ交流大会」が競技ごとに各会場で行われます。

この大会は、コロナのために中止となった富山市総合選手権大会、富山市民体育大会に代わる大会として、3年生を対象に特別に実施するもので、今年度限りの特別な大会です。

「3年間にわたる部活動のがんばりを発揮できる機会を、ぜひ3年生のために設けてあげたい」という顧問の先生たちの熱い思いによって実現しました。

例年通りではない初めてのやり方で、たった一度だけ行われる大会の企画・運営は、並大抵の大変さではありません。

ただでさえ学校の仕事が忙しい中、休日も返上し、プライベートの時間を削り、献身的に準備してくださったのです。

3年間、真剣に部活動に打ち込んだ人なら、顧問の先生が、自分たちのためにどれほど多くのことを犠牲にして尽くしてくださったかを知っているはずです。

顧問だけでなく、コーチをはじめとする指導者、練習や試合の時に送迎し応援してくださった保護者の方々、そして様々な形で自分たちの部活動を支えてくださった家族や先生方など、すべての人々への「感謝」を胸に、交流大会に臨んでください。そして、同じ目標をもってがんばってきた仲間との絆を、もっと強くして来てください。

賞状よりも、勝つことよりももっと大切なものがある。その大切なものを交流大会で見つけ、しっかりとつかんでください。それこそが部活動の意味であり、一生色あせることのない宝となるのです。

3年間、君たちの中学校生活をあざやかに彩った部活動。その中には、楽しいだけでなく、苦しみも、痛みも、悔しさも、人には言えない様々な思いがあったことでしょう。それらの思いを統合し、精神的な成長へと昇華させるのです。そして、その内なる成長こそが、これからの人生の基盤となるのです。

中学部活動最後の日が、生涯忘れ得ぬ「最高の一日」となることを祈っています。がんばってきてください！